

フェリス女学院大学学則

第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

第1条 本学は、キリスト教を教育の基本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教育を授け、専門の学問を教授研究し、もって真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

第1章の2 自己点検・評価

(自己点検・評価)

第1条の2 本学の設置目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、不
断の自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学は、前項の自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努める。

3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 組織及び学生収容定員

(組織)

第2条 本学に次の学部・学科を置く。

(1) 文学部 英語英米文学科 日本語日本文学科 コミュニケーション学科

(2) 音楽学部 音楽芸術学科 演奏学科

(3) 国際交流学部 国際交流学科

(学部の教育研究目的)

第2条の2 各学部の教育研究目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部

文学の領域に関する高度の教育研究を行い、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた人材を養成する。

(2) 音楽学部

西洋音楽の根幹であるキリスト教音楽を基盤として、音楽の領域に関する高度の教育研究を行い、専門的な知識・能力・技術を持ち、かつ音楽界を多様に支える素養を兼ね備えた人材を養成する。

(3) 国際交流学部

国際交流の領域に関する高度の教育研究を行い、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付けた人材を養成する。

(学生収容定員)

第2条の3 学生収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	2年次 編入学定員	3年次 編入学定員	収容定員
文学部	英語英米文学科	90名			360名
	日本語日本文学科	90名			360名
	コミュニケーション学科	90名			360名

	計	270名			1,080名
音楽学部	音楽芸術学科	45名			180名
	演奏学科	50名			200名
	計	95名			380名
国際交流学部	国際交流学科	194名	4名	6名	800名
合計		559名	4名	6名	2,260名

(大学院)

第2条の4 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第3章 授業科目

(授業科目)

第3条 本学の授業科目は、共通科目、専門科目及び教職に関する科目とし、その科目名及び単位数は、それぞれ別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 共通科目は、基礎教養科目、総合課題科目及び語学科目とする。

(外国人留学生に関する授業科目)

第3条の2 前条のほか、外国人留学生を対象として別表第4のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を置く。

第4条から第8条まで 削除

第4章 履修方法、単位及び卒業の認定

(修業年限)

第9条 本学の修業年限を4年とする。

2 在学期間は、8年を超えることができない。ただし、第25条の2第1項及び第2項の規定により入学した学生は、同条第3項に定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

(履修希望科目の届出)

第10条 学生は、每学期始めに履修希望の授業科目を学部長に届け出て、その承認を受けなければならない。

(他学部他学科専門科目の履修)

第11条 学生は、他学部他学科の専門科目を履修することができる。

(単位認定試験)

第12条 単位の認定は、平常点評価及び試験によって行う。ただし、卒業論文、卒業レポート、卒業論文・卒業制作、卒業演奏、卒業研究及び卒業プロジェクトの単位の認定は審査によって行うものとし、必要に応じ、口頭試問を併せて行うことができる。

(受験資格)

第13条 学生は、履修授業科目について3分の2以上出席しなければ、当該授業科目の試験を受けることができない。

(単位の授与)

第14条 授業科目の到達目標を達成した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条の2 学生が入学前に修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

- (1) 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位
- (2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学等における授業科目の履修)

第14条の3 本学の学生が他の大学等において修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

- (1) 他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位
- (2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項第1号の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(成績評価)

第15条 授業科目の成績は、S、A、B、C、F、又は合格、不合格の7種類の評語をもって表わし、S、A、B、C、又は合格を合格とする。

(単位)

第16条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実技、実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、別に定める。

第17条 削除

(卒業の要件)

第18条 卒業資格の認定を得るためには、本学に4年以上在学し、別表第5に定めるところにより卒業に必要な単位を修得しなければならない。

(外国人留学生の卒業の要件)

第18条の2 外国人留学生については、前条の要件に加え、次の各号の要件を満たさなければならない。

- (1) 第3条の2に定める日本語科目 前条関係別表第5の語学科目に代えて 10単位
 (2) 第3条の2に定める日本事情に関する科目 4単位
- 2 前項第1号に定める科目は語学科目とみなし、第2号に定める科目は基礎教養科目とみなす。
 3 前々項第1号については、そのうち2単位は、学部の指定する授業科目を修得することにより代えることができる。
 4 文学部英語英米文学科の外国人留学生については、第1項第1号に加え英語科目12単位又は20単位を必修とする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学部・学科	
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語	文学部	英語英米文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語	文学部	日本語日本文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽	音楽学部	音楽芸術学科 演奏学科
中学校教諭一種免許状	社 会	国際交流学部	国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	国際交流学部	国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	公 民	国際交流学部	国際交流学科

(日本語教員養成講座)

第19条の2 本学に日本語教員養成講座を置く。

2 前項の講座に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位授与)

第20条 学長は、第18条の規定により卒業資格の認定を受けた者には、その卒業を認め、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は、別に定める。

第21条 削除

第6章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(授業期間)

第22条の2 授業を行う期間は、前期と後期を合わせて年間35週とする。

(休業日)

第23条 休業日は、次の各号に掲げるところによる。ただし、学長は、授業の都合等により、これを変更することができる。

- (1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (2) 日曜日、土曜日
- (3) 開学記念日 6月1日
- (4) 夏季休業日 8月1日から 9月20日まで
- (5) 冬季休業日 12月22日から 1月10日まで
- (6) 春季休業日 3月16日から 3月31日まで
- (7) 臨時休業日については、学長がその都度定める。

第7章 入学、休学、退学等

(入学時期)

第24条 学生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、教授会が十分な理由があると認めるときには、教育上支障がない限り、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第25条 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可する。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(2年次編入学)

第25条の2 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への2年次編入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 大学又は短期大学に1年以上在学し、30単位以上を修得した者

- (4) 高等専門学校を卒業した者
 - (5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（前条に規定する者に限る。）
 - (6) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者
- 2 第2条の2に規定するもののほか、本学への2年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可することができる。
- 3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。
- （3年次編入学）

第25条の3 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への3年次編入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（前々条に規定する者に限る。）
 - (5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者
- 2 第2条の2に規定するもののほか、本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可することができる。
- 3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。
- （編入学資格における外国の学校教育制度に基づく教育施設の取扱い）

第25条の4 前々条第1号及び前条第1号に規定する大学を卒業した者には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者を含むものとする。

- 2 前々条第3号及び前条第2号に規定する大学には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。
- 3 前々条第3号に規定する短期大学には、我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。
- 4 前々条第2号及び前条第2号に規定する短期大学を卒業した者には、外国の短期大学を卒業した者及び我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14

年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(第25条に規定する者に限る。)を含むものとする。

(入学手続)

第26条 前2条の規定により入学の許可を受けた者は、別に定めるところにより、所定の期日までに手続しなければならない。

- 2 入学の許可を受けた者は、直ちに保証人を定め、入学手続しなければならない。
- 3 保証人は、父母等独立の生計を営む者で確実に保証人としての責任を果たし得る者でなければならない。保証人として不適当と認めるときは、その変更を命ずることができる。
- 4 保証人は、保証する学生の在学中、その一身に関する事項について一切の責務に任じなければならない。
- 5 保証人が何らかの事由によって責務を果たし得ない場合には、新たに保証人を選定して届け出なければならない。
- 6 保証人が住所変更した場合には、直ちにその旨を届け出なければならない。

(宣誓)

第27条 入学の許可を受けた者は、入学の際に所定の宣誓をしなければならない。

(入学許可の取消し)

第28条 学長は、入学の許可を受けた者が前2条の手続をとらないときは、入学許可を取り消すことができる。

(留学)

第28条の2 外国の大学に留学を志願する者は、所定の手続により、教授会の承認を得なければならない。

- 2 留学の期間は、1年を限度として第9条に定める在学期間として扱う。
- 3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

第29条 学生は、疾病その他のやむを得ない理由により、修学することができない場合には、保証人連署の上、所定の期日までに願い出て、1学期又は1学年を区分として、休学することができる。

- 2 校医の診断に基づき疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(出席停止)

第29条の2 学長は、感染症にかかった学生又はそのおそれのある学生に対して、出席停止を命ずることができる。

(休学期間)

第30条 休学は、1年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、学長の許可を得て、なお1年以内の休学をすることができる。

- 2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第9条の在学期間に算入しない。

(出席停止期間)

第30条の2 出席停止期間は、学校保健安全法施行規則第19条の規定に準じて、学長が決定する。

(転学部及び転学科)

第31条 所属する学部、学科から他の学部、学科に転学部、転学科を願い出た者については、選考の上、これを許可することがある。

2 転学部、転学科に関し必要な事項は、別に定める。

第32条 削除

(退学)

第33条 退学しようとする者は、保証人連署の上願い出なければならない。ただし、退学する日を含む学期の授業料等学納金を納入していなければならない。

(除籍)

第34条 学長は、学生が次の各号のいずれかに該当する場合には、除籍することができる。

- (1) 在学期間が8年を超えて卒業資格を得られない場合
- (2) 授業料等学納金の納入を怠った場合
- (3) 第30条第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない場合
- (4) 死亡した場合
- (5) 長期間にわたり行方不明の場合

(再入学)

第34条の2 本学を退学した者又は本学から除籍を受けた者が再入学を願い出たときは、教授会の議を経て、これを許可することがある。ただし、前条第1号により除籍を受けた者は、再入学を願い出ることにはできない。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 授業料等学納金その他納入金

(入学検定料の納入)

第35条 本学への入学を願い出る者は、入学検定料を納入しなければならない。

- 2 入学検定料の額は、別表第6に定めるとおりとする。
- 3 本学への再入学を願い出る者の入学検定料の額は、別に定める。
- 4 入学検定料を減免することがある。減免に関し必要な事項は別に定める。

(入学金、授業料等学納金の納入)

第36条 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、入学金及び入学年度前期分の授業料、実習費並びに施設設備費を納入しなければならない。

- 2 前項の額は、別表第7に定めるとおりとする。
- 3 前々項の規定に従って入学金及び授業料等学納金を納入した者が、入学以前の本学が定める期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた授業料等学納金を返還するものとする。ただし、入学金は返還しない。
- 4 再入学の許可を受けた者の入学金及び授業料等学納金の額は、別に定める。

第36条の2 学生は、学期ごとに当該学期分の授業料、実習費及び施設設備費を、前期分については4月、後期分については10月に納入しなければならない。

- 2 学生は、入学した年度から4年間(2年次編入学者にあつては3年間、3年次編入学者にあつては2年間)施設設備費を納入しなければならない。
- 3 前2項の額は、授業料等学納金として別表第7に定めるとおりとする。
- 4 入学年度前期分の授業料、実習費及び施設設備費については、第1項の規定にかかわらず、入学手続時に納入するものとする。
- 5 再入学した学生の授業料等学納金の額は、別に定める。

(在籍料の納入)

第36条の3 休学する者は、休学期間中の授業料及び実習費の納入を免除される。ただし、本学が定める期間内に、在籍料を納入しなければならない。

- 2 前項の額は、休学する学期の所定の授業料及び実習費の2分の1に相当する額とする。
- 3 本学から外国の大学に留学する者は、留学期間中の授業料及び実習費の納入を免除される。ただし、本学が定める期間内に、在籍料を納入しなければならない。
- 4 前項の額は、留学する学期の所定の授業料及び実習費に相当する額とする。

(納入の方法等)

第37条 第35条から前条までに定めるもののほか、授業料等学納金その他納入金の納入方法は、別に定める。

第9章 職員組織

(職員組織)

第38条 本学に学長、学部長、教授、准教授、講師、助手、副手、事務職員及びその他の職員を置く。

第10章 教授会及び大学評議会

(教授会)

第39条 本学の各学部に教授会を置き、各学部に所属する専任教員(教授、准教授、講師)をもって構成する。

第39条の2 教授会は、次の事項を審議する。

- (1) 学則その他の規則の制定改廃に関する事項
- (2) 教育課程に関する事項
- (3) 学生の入学、退学、休学、卒業及びその他身上に関する事項
- (4) 学生の試験並びに単位認定に関する事項
- (5) 学生の指導並びに賞罰に関する事項
- (6) 学長、学部長、大学評議員、各種委員の選出に関する事項
- (7) 教員の人事に関する事項
- (8) 学部の教育、研究に関する事項
- (9) その他教授会が必要と認める事項

第39条の3 前2条に規定するもののほか、教授会に関し必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

第39条の4 本学に大学評議会を置く。

- 2 大学評議会は、次の者をもって構成する。

- (1) 学長
 - (2) 各学部長
 - (3) 各学部から選出されたそれぞれ2名の教授
 - (4) 附属図書館長
 - (5) 情報センター長
- 3 前項に規定するもののほか、重要な職にある教授を大学評議会の議を経て、大学評議員とすることができる。

第39条の5 大学評議会は、次の事項を審議する。

- (1) 学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項
- (2) 予算概算方針に関する事項
- (3) 学部、学科その他重要な施設、組織の設置、廃止に関する事項
- (4) 学長の推挙に関する事項
- (5) 教員人事の基準に関する事項
- (6) 学生定員に関する事項
- (7) 学生の厚生補導及びその身分に関する重要事項
- (8) 学部その他の機関の連絡調整に関する事項
- (9) その他大学の運営に関する重要事項

第39条の6 前2条に規定するもののほか、大学評議会に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 削除

第40条 削除

第12章 図書館、研究施設及びセンター

(附属図書館)

第41条 本学に附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(附属研究施設)

第42条 本学に附属の研究施設を置くことができる。

- 2 研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(センター)

第42条の2 本学に教育・研究の特定分野を所管する附属のセンターを置くことができる。

- 2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

第13章 科目等履修生、交流学生、外国人留学生及び交換留学生

(科目等履修生)

第43条 学長は、本学学生でない者で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

- 2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、選考料を添えて学長に願い出なければならない。

- 3 科目等履修生として履修を許可された者は、所定の期日までに登録料・施設設備利用料及び受講料を納入しなければならない。ただし、履修する科目について単位の認定を希望する者は、単

位認定料を併せて納入しなければならない。

- 4 前2項の額は、別表第8に定めるとおりとする。
- 5 既に納めた選考料、登録料・施設設備利用料、受講料及び単位認定料は、いかなる理由にかかわらず返還しない。
- 6 前各項に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(交流学生)

第43条の2 学長は、本学と協定のある日本国内の他の大学に在籍する学生で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、交流学生として履修を許可することができる。

- 2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。
- 3 前2項に定めるもののほか、交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第44条 学長は、外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生)

第44条の2 学長は、本学と協定のある外国の大学の学生については、交換留学生として入学を許可することができる。

- 2 交換留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 公開講座

(公開講座)

第45条 本学に、公開講座を開設することができる。

- 2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第15章 名誉教授

(名誉教授)

第46条 学長は、本学に学長、教授、准教授又は講師として多年勤務し、教育上又は学術上特に功労のあった者に対し、教授会及び大学評議会の議を経て、名誉教授の称号を授与することができる。

第16章 学内諸施設

(厚生施設)

第47条 本学に保健室等必要な厚生施設を置く。

(寄宿舍)

第48条 本学に寄宿舍を置くことができる。

- 2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

(体育館)

第48条の2 本学に体育館を置く。

- 2 体育館に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の厚生施設)

第49条 前3条に定めるもののほか、大学に必要な厚生施設を置くことができる。

第17章 賞罰

(表彰)

第50条 学長は、学生の本分を全うし、特に他の模範となると認められる者があるときは、これを表彰することができる。

(処分)

第51条 学長は、本学の学則及び訓育の趣旨に違背し、又は学生としての本分に反する行為をした学生に対し、教授会及び大学評議会の議を経て懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の何れかに該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる場合

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる場合

(3) 正当な理由がなくて出席常でない場合

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した場合

第18章 改正

(改正)

第52条 この学則の改正は、教授会及び大学評議会の議を経て、理事会が決定する。

第19章 雑則

(その他の事項)

第53条 この学則に定めるもののほか、必要な事項は学長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和42年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和62年度から平成7年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	140
国文学科	140
計	280

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和63年度から平成2年度までの間の国際文化学科の総定員は、次のとおりとする。

年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
学科	名	名	名
国際文化学科	80	160	240

附 則

- 1 本学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、第14条の2については、昭和63年4月1日から適用する。
- 2 第40条の規定にかかわらず平成元年度から平成3年度までの間の音楽学部の総定員は、次のとおりとする。

年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
学部			
学科			
音楽学部	名	名	名
声楽学科	20	40	60
器楽学科	20	40	60
楽理学科	10	20	30

計	50	100	150
---	----	-----	-----

附 則

本学則は、1990年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則第8条、第18条並びに第19条にかかわらず、1989年度以前入学生は、なお従前のおりとする。

附 則

本学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の音楽学部声楽学科及び器楽学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
音楽学部	名
声楽学科	30
器楽学科	40

附 則〔1991年5月23日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1991年9月6日理事会決定〕

本学則は、1991年9月6日から施行する。ただし、第7条別表2のC、第18条、第37条別表4及び第43条については1992年4月1日から適用する。

附 則〔1992年2月27日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第40条及び附則（昭和62年4月1日施行）の規定にかかわらず、1992年度から1999年度までの間の文学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	1992年度～1995年度	1996年度～1999年度
文学部	名	名
英文学科	155	135
国文学科	155	135
国際文化学科	95	95

附 則〔1992年3月24日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第18条において、1992年度以前の入学生に適用する表の区分は、第3条の規定に基づき、「一般教育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」及び「総合課題科目」に、「保健体育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」に、「外国語科目」を「共通科目」の「語学科目」にそれぞれ読み替えるものとし、音楽学部の「基礎教育科目」を、「音楽学部専門科目」の該当する授業科目にそれぞれ読み替えるものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年3月11日から施行する。ただし、文学部国文学科の名称に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。
- 2 文学部国文学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1993年3月31日に当該学科に在学する

者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

本学則は、1993年3月16日から施行する。ただし、音楽学部の教育職員免許状に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1992年9月21日理事会決定〕

本学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1993年3月22日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第15条の規定にかかわらず、1992年度以前入学生については、授業科目の試験の成績は、A、B、C、Fの4種類の評語をもって表わし、A、B、Cを合格とする。

附 則〔1993年12月20日理事会決定〕

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第3条の別表1のC及び別表2のA、B、C、第3条の2の別表4及び第18条第1項の文学部1993年度以降入学生に適用する表は、1993年4月1日から適用する。

附 則〔1994年5月23日理事会決定〕

この学則は、1994年5月23日から施行する。ただし、第18条第1項の文学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生並びに音楽学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生に適用する表中、専門教育科目の帰国子女に係る必修科目の廃止については、1994年4月1日から適用する。

附 則〔1994年10月24日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年2月28日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年3月27日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5 - 1に規定する入学検定料の額は、1996年度入学試験から適用する。
- 2 改正後の第2条の2及び附則(1992年4月1日施行)の規定にかかわらず、1996年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	155
日本文学科	155

- 3 1992年度以前入学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 文学部国際文化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、1997年3月31日に当該学科に在

学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

- 3 改正後の第2条の2の規定にかかわらず、1997年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科並びに国際交流学部国際交流学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	135
日本文学科	145
国際交流学部	
国際交流学科	155

- 4 1993年度以前入学者及び文学部国際文化学科在学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年2月27日理事会決定〕

- この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 音楽学部1993年度から1996年度入学者に適用する各学科専門科目は、改正後の第3条関係別表2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年9月8日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1997年12月11日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1998年2月26日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1999年2月22日理事会決定〕

この学則は、1999年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1999年度入学試験から適用する。

附 則〔1999年5月25日理事会決定〕

- この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2000年度から2003年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科、音楽学部声楽学科及び器楽学科、国際交流学部国際交流学科の入学定員は、改正後の第2条の2の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員			
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
文学部	名	名	名	名
英文学科	125	121	118	115
日本文学科	125	122	118	114
音楽学部				
声楽学科	29	28	27	26
器楽学科	53	51	49	47

国際交流学部 国際交流学科	161	159	158	156
------------------	-----	-----	-----	-----

附 則〔1999年10月29日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1996年度以前入学者に適用する音楽学部共通専門科目は、改正後の第3条関係別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 文学部1995年度以前入学者及び音楽学部1996年度以前入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2000年2月4日理事会決定〕

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則〔2001年2月19日理事会決定〕

- 1 この学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2001年度入学試験から適用する。
- 2 文学部1996年度及び1997年度入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2002年3月25日理事会決定〕

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則〔2002年12月16日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部楽理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2004年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔2003年2月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第35条第4項に規定する入学検定料の減免については、2003年度入学試験から適用する。
- 3 音楽学部器楽学科2000・2001・2002年度入学者の卒業に必要な単位の改正は、2003年2月25日から施行し、2000年4月1日から適用する。

附 則〔2003年5月29日理事会決定〕

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則〔2003年11月27日理事会決定〕

この学則は、2003年11月27日から施行する。

附 則〔2004年2月26日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2004年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2005年度入学試験から適用する。

- 2 音楽学部声楽学科及び器楽学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2005年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部声楽学科及び器楽学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 1996年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学者に係る入学金及び授業料等学納金の額は、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、2004年度以前入学者に準じて納入しなければならない。

附 則〔2005年2月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者及び2004年度入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、それぞれ改正後の第18条の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行し、2006年度入学試験から適用する。

附 則〔2005年9月5日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年2月23日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年3月23日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行し、2007年度入学試験から適用する。

附 則〔2006年10月26日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の第36条及び第36条の2に規定する納入方法は、2007年度入学試験より適用する。
- 2 2006年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 2007年度及び2008年度3年次編入学者の施設設備費の納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 2007年度2年次編入学者の施設設備費納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学試験から適用する。

附 則〔2008年2月28日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則〔2008年3月27日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学者から適用する。

附 則〔2009年2月26日理事会決定〕

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則〔2009年5月28日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年2月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行し、2011年度入学試験から適用する。

附 則〔2010年10月28日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2011年2月24日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2012年2月23日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年3月22日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年10月25日理事会決定〕

1 この学則は、2014年4月1日から施行する。

2 文学部英文学科及び日本文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2014年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

3 文学部英文学科及び日本文学科在学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

4 文学部英文学科在学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

5 文学部英文学科及び日本文学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

1 この学則は、2013年2月28日から施行し、2011年4月1日から適用する。

2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1-Cに規定する「フランス語 s(L L)」、「ドイツ語 s(L L)」、「スペイン語 s(L L)」、「中国語 s(L L)」、「朝鮮語 s(L L)」については、2003年4月1日から適用する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2013年4月1日から施行する。

別表第1 共通科目（第3条関係）（ ）内は単位数

A 基礎教養科目

キリスト教	(2)	現代の経済問題	(2)
哲学A	(2)	社会保障論	(2)
哲学B	(2)	マクロ経済学	(2)
心理学	(2)	ミクロ経済学	(2)
青年心理	(2)	経営学入門A	(2)
現代教育学	(2)	経営学入門B	(2)
子ども・教育・保育	(2)	現代企業論1	(2)
論理学	(2)	現代企業論2	(2)
数的思考の初歩	(2)	ボランティア論	(2)
読み書きのスキル（文学系）	(2)	ボランティア活動1	(1)
読み書きのスキル（社会系）	(2)	ボランティア活動2	(2)
今年の一冊	(2)	ボランティア活動3	(6)
聞く話すのスキル	(2)	文学（日本文学）	(2)
情報とメディアのリテラシー	(2)	文学（外国文学）	(2)
読書とメディア	(2)	音楽A	(2)
社会科学入門	(2)	音楽B	(2)
近現代史入門	(2)	音楽実技A	(1)
社会経済史	(2)	音楽実技B	(1)
社会学A	(2)	美術芸術論	(2)
社会学B	(2)	舞台芸術入門	(2)
マスコミュニケーション論A	(2)	科学技術入門	(2)
マスコミュニケーション論B	(2)	数学の基礎	(2)
現代における法学入門	(2)	統計の基礎	(2)
民法（家族法）	(2)	環境学入門	(2)
日本国憲法	(2)	生き物との共生	(2)
商法・会社法	(2)	情報科学	(2)
消費者関連法	(2)	情報リテラシー	(2)
行政学A	(2)	女性のエクササイズパフォーマンス	(2)
行政学B	(2)	健康科学	(2)
経済学入門	(4)	健康・スポーツ	(1)

B 総合課題科目

キリスト教	(2)	キャリア実習（短期インターンシップ）	(1)
キリスト教	(2)	キャリア実習（長期インターンシップ）	(2)
フェリス女学院で学ぶということ	(2)	転換の時代を生きる	(2)
女性	(2)	環境と人間	(2)
他者との共生：For Others	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
私のキャリアを考える	(2)	学びの世界を広げる	(2)
ビジネス・スキルを高める	(2)	新たな学びの世界への招待	(2)

C 語学科目

英語 s（読む・書く）	(1)	英語 s（読む・書く）	(1)
英語 s（聞く・話す）	(1)	英語 s（聞く・話す）	(1)
英語 i（Reading）	(1)	英語 i（Reading）	(1)
英語 i（Writing）	(1)	英語 i（Writing）	(1)
英語 i（Listening）	(1)	英語 i（Listening）	(1)
英語 i（Speaking）	(1)	英語 i（Speaking）	(1)
英語 i（Presentation）	(1)	英語 i（Language Development）	(1)
英語 i（Language Development）	(1)	英語 s（読む・書く）	(1)
英語 i（講読）	(1)	英語 s（聞く・話す）	(1)

英語	i (Reading)	(1)	フランス語	s (文法)	(1)
英語	i (Writing)	(1)	フランス語	s (読む)	(1)
英語	i (Listening)	(1)	フランス語	s (LL)	(1)
英語	i (Speaking)	(1)	フランス語	i (文法)	(2)
英語	i (Language Development)	(1)	フランス語	i (読む)	(1)
英語	i (講読)	(1)	フランス語	i (話す)	(1)
英語	s (読む・書く)	(1)	フランス語	i (書く)	(1)
英語	s (聞く・話す)	(1)	フランス語	i (LL)	(1)
英語	i (Reading)	(1)	フランス語	s (文法)	(1)
英語	i (Speaking)	(1)	フランス語	s (読む)	(1)
英語e (Academic Listening)	(1)		フランス語	s (話す)	(1)
英語e (Academic Reading)	(1)		フランス語	s (LL)	(1)
英語e (Academic Reading:Advanced)	(1)		フランス語	i (読む1)	(1)
英語e (Business Communication)	(1)		フランス語	i (読む2)	(1)
英語e (Conversation Skills:Basic)	(1)		フランス語	i (話す)	(1)
英語e (Conversation Skills)	(1)		フランス語	i (書く)	(1)
英語e (Conversation Skills:Advanced)	(1)		フランス語	i (LL)	(1)
英語e (Creative Writing)	(1)		フランス語	s (読む)	(1)
英語e (Debating Culture)	(1)		フランス語	s (話す)	(1)
英語e (Discussion and Debate)	(1)		フランス語	s (LL)	(1)
英語e (English through Drama)	(1)		フランス語	i (読む)	(1)
英語e (English through Movies: Basic)	(1)		フランス語	i (話す)	(1)
英語e (English through Movies)	(1)		フランス語	i (書く)	(1)
英語e (English through Music:Basic)	(1)		フランス語	i (LL)	(1)
英語e (Grammar:Basic)	(1)		フランス語	i (読む)	(1)
英語e (News and Views)	(1)		フランス語	i (話す)	(1)
英語e (News and Views: Advanced)	(1)		フランス語	i (書く)	(1)
英語e (Pronunciation: Basic)	(1)		フランス語	i (LL)	(1)
英語e (Pronunciation)	(1)		海外語学実習 (フランス語)		(2)
英語e (Public Speaking)	(1)		ドイツ語	(入門)	(1)
英語e (Reading Fantasy:Basic)	(1)		ドイツ語	(文法)	(1)
英語e (Reading Fiction)	(1)		ドイツ語	(読む)	(1)
英語e (Reading Literature) A	(1)		ドイツ語	i (文法)	(3)
英語e (Reading Literature) B	(1)		ドイツ語	i (読む1)	(1)
英語e (Reading Poetry)	(1)		ドイツ語	i (読む2)	(1)
英語e (Speech and Debate)	(1)		ドイツ語	i (LL)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation)	(1)		ドイツ語	s (文法)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation)	(1)		ドイツ語	s (読む)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation)	(1)		ドイツ語	s (LL)	(1)
英語e (TOEIC Preparation)	(1)		ドイツ語	i (文法)	(2)
英語e (TOEIC Preparation)	(1)		ドイツ語	i (読む)	(1)
英語e (TOEIC Preparation : Listening)	(1)		ドイツ語	i (話す)	(1)
英語e (TOEIC Preparation : Reading)	(1)		ドイツ語	i (書く)	(1)
英語e (TOEIC Preparation)	(1)		ドイツ語	i (LL)	(1)
英語e (Vocabulary:Basic)	(1)		ドイツ語	s (文法)	(1)
英語e (Vocabulary)	(1)		ドイツ語	s (読む)	(1)
英語e (World Englishes:Advanced)	(1)		ドイツ語	s (話す)	(1)
英語e (Writing Skills)	(1)		ドイツ語	s (LL)	(1)
フランス語 (入門)	(1)		ドイツ語	i (読む1)	(1)
フランス語 i (文法)	(3)		ドイツ語	i (読む2)	(1)
フランス語 i (読む1)	(1)		ドイツ語	i (話す)	(1)
フランス語 i (読む2)	(1)		ドイツ語	i (書く)	(1)
フランス語 i (LL)	(1)		ドイツ語	i (LL)	(1)

ドイツ語	s (読む)	(1)	中国語	s (LL)	(1)
ドイツ語	s (話す)	(1)	中国語	i (文法)	(2)
ドイツ語	s (LL)	(1)	中国語	i (読む)	(1)
ドイツ語	i (読む)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
ドイツ語	i (話す)	(1)	中国語	i (書く)	(1)
ドイツ語	i (書く)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
ドイツ語	i (LL)	(1)	中国語	s (文法)	(1)
ドイツ語	i (読む)	(1)	中国語	s (読む)	(1)
ドイツ語	i (話す)	(1)	中国語	s (話す)	(1)
ドイツ語	i (書く)	(1)	中国語	s (LL)	(1)
ドイツ語	i (LL)	(1)	中国語	i (読む1)	(1)
海外語学実習 (ドイツ語)		(2)	中国語	i (読む2)	(1)
スペイン語	(入門)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
スペイン語	i (文法)	(3)	中国語	i (書く)	(1)
スペイン語	i (読む1)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
スペイン語	i (読む2)	(1)	中国語	s (読む)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	中国語	s (話す)	(1)
スペイン語	s (文法)	(1)	中国語	s (LL)	(1)
スペイン語	s (読む)	(1)	中国語	i (読む)	(1)
スペイン語	s (LL)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
スペイン語	i (文法)	(2)	中国語	i (書く)	(1)
スペイン語	i (読む)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
スペイン語	i (話す)	(1)	中国語	i (読む)	(1)
スペイン語	i (書く)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	中国語	i (書く)	(1)
スペイン語	s (文法)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
スペイン語	s (読む)	(1)	海外語学実習 (中国語)		(2)
スペイン語	s (話す)	(1)	朝鮮語	(入門)	(1)
スペイン語	s (LL)	(1)	朝鮮語	i (文法)	(3)
スペイン語	i (読む1)	(1)	朝鮮語	i (読む1)	(1)
スペイン語	i (読む2)	(1)	朝鮮語	i (読む2)	(1)
スペイン語	i (話す)	(1)	朝鮮語	i (LL)	(1)
スペイン語	i (書く)	(1)	朝鮮語	s (文法)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	朝鮮語	s (読む)	(1)
スペイン語	s (読む)	(1)	朝鮮語	s (LL)	(1)
スペイン語	s (話す)	(1)	朝鮮語	i (文法)	(2)
スペイン語	s (LL)	(1)	朝鮮語	i (読む)	(1)
スペイン語	i (読む)	(1)	朝鮮語	i (話す)	(1)
スペイン語	i (話す)	(1)	朝鮮語	i (書く)	(1)
スペイン語	i (書く)	(1)	朝鮮語	i (LL)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	朝鮮語	s (文法)	(1)
スペイン語	i (読む)	(1)	朝鮮語	s (読む)	(1)
スペイン語	i (話す)	(1)	朝鮮語	s (話す)	(1)
スペイン語	i (書く)	(1)	朝鮮語	s (LL)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	朝鮮語	i (読む1)	(1)
海外語学実習 (スペイン語)		(2)	朝鮮語	i (読む2)	(1)
中国語	(入門)	(1)	朝鮮語	i (話す)	(1)
中国語	i (文法)	(3)	朝鮮語	i (書く)	(1)
中国語	i (読む1)	(1)	朝鮮語	i (LL)	(1)
中国語	i (読む2)	(1)	朝鮮語	s (読む)	(1)
中国語	i (LL)	(1)	朝鮮語	s (話す)	(1)
中国語	s (文法)	(1)	朝鮮語	s (LL)	(1)
中国語	s (読む)	(1)	朝鮮語	i (読む)	(1)

朝鮮語 i (話す)	(1)	古典ギリシア語 (読む)	(1)
朝鮮語 i (書く)	(1)	ラテン語 (文法)	(1)
朝鮮語 i (LL)	(1)	ラテン語 (文法)	(1)
朝鮮語 i (読む)	(1)	ラテン語 (読む)	(1)
朝鮮語 i (話す)	(1)	ラテン語 (読む)	(1)
朝鮮語 i (書く)	(1)	イタリア語 (文法)	(1)
朝鮮語 i (LL)	(1)	イタリア語 (読む)	(1)
海外語学実習 (朝鮮語)	(2)	イタリア語 (文法)	(1)
古典ギリシア語 (文法)	(1)	イタリア語 (読む)	(1)
古典ギリシア語 (文法)	(1)	日本語	(1)
古典ギリシア語 (読む)	(1)	日本語	(1)

別表第2 専門科目 (第3条関係)

A-1 文学部英文学科

()内は単位数

R & R (入門ゼミ)	(1)	英語のしくみを知る A	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	英語のしくみを知る B	(2)
アメリカ研究入門	(4)	英語と社会・文化	(2)
イギリス研究入門	(4)	英語学特論	(2)
英米文学研究入門	(4)	日英語の発想と表現	(2)
英語文化研究入門	(4)	英語の発音 A	(2)
英語学研究入門	(4)	英語の発音 B	(2)
アメリカを読み解く	(2)	英語の歴史 A	(2)
イギリスを読み解く	(2)	英語の歴史 B	(2)
英語の実像を探る	(2)	翻訳技法 A	(2)
英語文献を読み解く	(2)	翻訳技法 B	(2)
現代アメリカ論	(4)	通訳技法 A	(2)
アメリカの政治と社会 A	(2)	通訳技法 B	(2)
アメリカの政治と社会 B	(2)	同時通訳技法 A	(2)
アメリカの思想・宗教 A	(2)	同時通訳技法 B	(2)
アメリカの思想・宗教 B	(2)	時事英語研究 A	(2)
アメリカの文化 A	(2)	時事英語研究 B	(2)
アメリカの文化 B	(2)	Academic Writing A	(2)
アメリカ史	(4)	Academic Writing B	(2)
アメリカン・スタディーズ	(2)	Global Issues	(4)
英語圏の映画と映像 A	(2)	Internet English A	(2)
英語圏の映画と映像 B	(2)	Internet English B	(2)
英語圏の文学と芸術 A	(2)	English for Kids A	(2)
英語圏の文学と芸術 B	(2)	English for Kids B	(2)
英米芸術史	(2)	The English-Speaking World A	(2)
イギリス文化史	(2)	The English-Speaking World B	(2)
イギリスの政治と社会 A	(2)	Teaching Japanese Language A	(2)
イギリスの政治と社会 B	(2)	Teaching Japanese Language B	(2)
イギリスの思想・宗教 A	(2)	Ferris Special English Program	(2)
イギリスの思想・宗教 B	(2)	カルチュラルスタディーズ A	(2)
イギリス文化論総説 A	(2)	カルチュラルスタディーズ B	(2)
イギリス文化論総説 B	(2)	古典と表象文化 A	(2)
イギリス史 A	(2)	古典と表象文化 B	(2)
イギリス史 B	(2)	テキスト生成と批評 A	(2)
カナダの政治と社会	(4)	テキスト生成と批評 B	(2)
オーストラリア地域文化研究 A	(2)	ポピュラーカルチャー A	(2)
オーストラリア地域文化研究 B	(2)	ポピュラーカルチャー B	(2)
英語のさまざまな側面 A	(2)	声の文化と文字の文化 A	(2)
英語のさまざまな側面 B	(2)	声の文化と文字の文化 B	(2)

ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)	イギリス詩の世界 B	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)	アメリカ演劇の世界 A	(2)
児童文学論 A	(2)	アメリカ演劇の世界 B	(2)
児童文学論 B	(2)	イギリス演劇の世界 A	(2)
キリスト教と文学	(2)	イギリス演劇の世界 B	(2)
キリスト教と英米文学 1	(2)	フォークロアの世界 A	(2)
キリスト教と英米文学 2	(2)	フォークロアの世界 B	(2)
アメリカ文学史	(2)	英語圏文学 A	(2)
イギリス文学史 A	(2)	英語圏文学 B	(2)
イギリス文学史 B	(2)	フィールド・スタディ 1	(1)
英米文学特論 A	(2)	フィールド・スタディ 2	(1)
英米文学特論 B	(2)	アメリカ現地実習	(2)
アメリカ小説を読む A	(2)	イギリス現地実習	(2)
アメリカ小説を読む B	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
イギリス小説を読む A	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
イギリス小説を読む B	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
アメリカ詩の世界 A	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
アメリカ詩の世界 B	(2)	卒業論文	(6)
イギリス詩の世界 A	(2)		

A - 2 文学部英語英米文学科
2014年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	イギリス文化論総説 B	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	イギリス史 A	(2)
アメリカ研究入門	(4)	イギリス史 B	(2)
イギリス研究入門	(4)	カナダの政治と社会	(4)
英米文学研究入門	(4)	オーストラリア地域文化研究 A	(2)
英語文化研究入門	(4)	オーストラリア地域文化研究 B	(2)
英語学研究入門	(4)	英語のさまざまな側面 A	(2)
アメリカを読み解く	(2)	英語のさまざまな側面 B	(2)
イギリスを読み解く	(2)	英語のしくみを知る A	(2)
英語の実像を探る	(2)	英語のしくみを知る B	(2)
英語文献を読み解く	(2)	英語と社会・文化	(2)
現代アメリカ論	(4)	英語学特論	(2)
アメリカの政治と社会 A	(2)	日英語の発想と表現	(2)
アメリカの政治と社会 B	(2)	英語の発音 A	(2)
アメリカの思想・宗教 A	(2)	英語の発音 B	(2)
アメリカの思想・宗教 B	(2)	英語の歴史 A	(2)
アメリカの文化 A	(2)	英語の歴史 B	(2)
アメリカの文化 B	(2)	翻訳技法 A	(2)
アメリカ史	(4)	翻訳技法 B	(2)
アメリカン・スタディーズ	(2)	通訳技法 A	(2)
英語圏の映画と映像 A	(2)	通訳技法 B	(2)
英語圏の映画と映像 B	(2)	同時通訳技法 A	(2)
英語圏の文学と芸術 A	(2)	同時通訳技法 B	(2)
英語圏の文学と芸術 B	(2)	時事英語研究 A	(2)
英米芸術史	(2)	時事英語研究 B	(2)
イギリス文化史	(2)	Academic Writing A	(2)
イギリスの政治と社会 A	(2)	Academic Writing B	(2)
イギリスの政治と社会 B	(2)	Global Issues	(4)
イギリスの思想・宗教 A	(2)	Internet English A	(2)
イギリスの思想・宗教 B	(2)	Internet English B	(2)
イギリス文化論総説 A	(2)	English for Kids A	(2)

English for Kids B	(2)	英米文学特論 B	(2)
The English-Speaking World A	(2)	アメリカ小説を読む A	(2)
The English-Speaking World B	(2)	アメリカ小説を読む B	(2)
Teaching Japanese Language A	(2)	イギリス小説を読む A	(2)
Teaching Japanese Language B	(2)	イギリス小説を読む B	(2)
Ferris Special English Program	(2)	アメリカ詩の世界 A	(2)
カルチュラルスタディーズ A	(2)	アメリカ詩の世界 B	(2)
カルチュラルスタディーズ B	(2)	イギリス詩の世界 A	(2)
古典と表象文化 A	(2)	イギリス詩の世界 B	(2)
古典と表象文化 B	(2)	アメリカ演劇の世界 A	(2)
テキスト生成と批評 A	(2)	アメリカ演劇の世界 B	(2)
テキスト生成と批評 B	(2)	イギリス演劇の世界 A	(2)
ポピュラーカルチャー A	(2)	イギリス演劇の世界 B	(2)
ポピュラーカルチャー B	(2)	フォークロアの世界 A	(2)
声の文化と文字の文化 A	(2)	フォークロアの世界 B	(2)
声の文化と文字の文化 B	(2)	英語圏文学 A	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)	英語圏文学 B	(2)
ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)	フィールド・スタディ 1	(1)
児童文学論 A	(2)	フィールド・スタディ 2	(1)
児童文学論 B	(2)	アメリカ現地実習	(2)
キリスト教と文学	(2)	イギリス現地実習	(2)
キリスト教と英米文学 1	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
キリスト教と英米文学 2	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
アメリカ文学史	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
イギリス文学史 A	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
イギリス文学史 B	(2)	卒業論文	(6)
英米文学特論 A	(2)		

B-1 文学部日本文学科

R & R (入門ゼミ)	(1)	古典文学を読む 2	(4)
日本言語文化基礎ゼミ	(1)	古典文学を読む 3	(4)
日本語学概論 A	(2)	古典文学を読む 4	(4)
日本語学概論 B	(2)	近現代文学を読む 1	(4)
日本語の歴史 A	(2)	近現代文学を読む 2	(4)
日本語の歴史 B	(2)	中国文学を読む	(4)
日本古典文学史 1	(2)	日本語文法研究の方法	(2)
日本古典文学史 2	(2)	日本語語彙研究の方法	(2)
日本古典文学史 3	(2)	日本語音声研究の方法	(2)
日本古典文学史 4	(2)	方言研究の方法	(2)
日本近代文学史 A	(2)	上代文学研究の方法	(2)
日本近代文学史 B	(2)	中古文学研究の方法	(2)
漢文学概説 A	(2)	中世文学研究の方法	(2)
漢文学概説 B	(2)	近世文学研究の方法	(2)
言語学概説	(2)	近現代文学研究の方法	(2)
基礎論文演習 (文章表現)	(1)	キリスト教と日本文学	(2)
書誌学・くずし字の基礎	(2)	日本語の形態と構文	(2)
古典読解の基礎	(2)	日本語の意味と語彙	(2)
漢文読解の基礎	(2)	日本語の音声とアクセント	(2)
文学理論の基礎	(2)	日本語の文体と語法	(2)
日本史の基礎 (古代～近世)	(2)	日本の漢字と国語辞書	(2)
日本史の基礎 (近現代)	(2)	日本語の敬語	(2)
日本語資料を読む	(4)	神話の世界	(2)
古典文学を読む 1	(4)	説話の世界	(2)

古代和歌の世界	(2)	報道文を学ぶ	(2)
物語の世界	(2)	編集を学ぶ	(2)
日記の世界	(2)	朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
随筆の世界	(2)	カルチュラルスタディーズA	(2)
中世和歌の世界	(2)	カルチュラルスタディーズB	(2)
軍記の世界	(2)	古典と表象文化A	(2)
俳諧の世界	(2)	古典と表象文化B	(2)
近世小説の世界	(2)	テキスト生成と批評A	(2)
近代小説の世界	(2)	テキスト生成と批評B	(2)
現代小説の世界	(2)	ポピュラーカルチャーA	(2)
近現代詩歌の世界	(2)	ポピュラーカルチャーB	(2)
同時代文学の世界	(2)	声の文化と文字の文化A	(2)
能・狂言の世界	(2)	声の文化と文字の文化B	(2)
歌舞伎の世界	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
浄瑠璃の世界	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
近現代演劇の世界	(2)	児童文学論A	(2)
漢字の世界1	(2)	児童文学論B	(2)
漢字の世界2	(2)	キリスト教と文学	(2)
漢詩漢文の世界1	(2)	日本語教育学概論A	(2)
漢詩漢文の世界2	(2)	日本語教育学概論B	(2)
日中比較言語・文学の世界	(2)	日本語教育の教材分析A	(2)
書道芸術の世界	(2)	日本語教育の教材分析B	(2)
言語と文化	(2)	日本語学習のコースデザイン	(2)
方言と社会言語学	(2)	日本語教育評価法	(2)
コンピュータと言語学	(2)	第二言語習得論	(2)
文学と子ども	(2)	日本語教育のための異文化理解	(2)
文字と文学	(2)	日本語教授法A	(2)
文学と都市空間	(2)	日本語教授法B	(2)
地域文化を読み解く	(2)	日本語教育実習1	(1)
民俗文化を読み解く	(2)	日本語教育実習2	(2)
絵巻・絵図を読み解く	(2)	日本言語文化専門ゼミA	(1)
マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)	日本言語文化専門ゼミB	(1)
日本伝統文化を学ぶ	(2)	日本言語文化卒論ゼミA	(1)
国際日本文学研究を学ぶ	(2)	日本言語文化卒論ゼミB	(1)
小説創作を学ぶ	(2)	卒業論文	(6)
短歌創作を学ぶ	(2)	書道A	(1)
現代詩創作を学ぶ	(2)	書道B	(1)

B - 2 文学部日本語日本文学科
2014年度以降入学者

R & R(入門ゼミ)	(1)	漢文学概説B	(2)
日本言語文化基礎ゼミ	(1)	言語学概説	(2)
日本語学概論A	(2)	基礎論文演習(文章表現)	(1)
日本語学概論B	(2)	書誌学・くずし字の基礎	(2)
日本語の歴史A	(2)	古典読解の基礎	(2)
日本語の歴史B	(2)	漢文読解の基礎	(2)
日本古典文学史1	(2)	文学理論の基礎	(2)
日本古典文学史2	(2)	日本史の基礎(古代~近世)	(2)
日本古典文学史3	(2)	日本史の基礎(近現代)	(2)
日本古典文学史4	(2)	日本語資料を読む	(4)
日本近代文学史A	(2)	古典文学を読む1	(4)
日本近代文学史B	(2)	古典文学を読む2	(4)
漢文学概説A	(2)	古典文学を読む3	(4)

古典文学を読む 4	(4)	文字と文学	(2)
近現代文学を読む 1	(4)	文学と都市空間	(2)
近現代文学を読む 2	(4)	地域文化を読み解く	(2)
中国文学を読む	(4)	民俗文化を読み解く	(2)
日本語文法研究の方法	(2)	絵巻・絵図を読み解く	(2)
日本語語彙研究の方法	(2)	マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
日本語音声研究の方法	(2)	日本伝統文化を学ぶ	(2)
方言研究の方法	(2)	国際日本文学研究を学ぶ	(2)
上代文学研究の方法	(2)	小説創作を学ぶ	(2)
中古文学研究の方法	(2)	短歌創作を学ぶ	(2)
中世文学研究の方法	(2)	現代詩創作を学ぶ	(2)
近世文学研究の方法	(2)	報道文を学ぶ	(2)
近現代文学研究の方法	(2)	編集を学ぶ	(2)
キリスト教と日本文学	(2)	朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
日本語の形態と構文	(2)	カルチュラルスタディーズ A	(2)
日本語の意味と語彙	(2)	カルチュラルスタディーズ B	(2)
日本語の音声とアクセント	(2)	古典と表象文化 A	(2)
日本語の文体と語法	(2)	古典と表象文化 B	(2)
日本の漢字と国語辞書	(2)	テキスト生成と批評 A	(2)
日本語の敬語	(2)	テキスト生成と批評 B	(2)
神話の世界	(2)	ポピュラーカルチャー A	(2)
説話の世界	(2)	ポピュラーカルチャー B	(2)
古代和歌の世界	(2)	声の文化と文字の文化 A	(2)
物語の世界	(2)	声の文化と文字の文化 B	(2)
日記の世界	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)
随筆の世界	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)
中世和歌の世界	(2)	児童文学論 A	(2)
軍記の世界	(2)	児童文学論 B	(2)
俳諧の世界	(2)	キリスト教と文学	(2)
近世小説の世界	(2)	日本語教育学概論 A	(2)
近代小説の世界	(2)	日本語教育学概論 B	(2)
現代小説の世界	(2)	日本語教育の教材分析 A	(2)
近現代詩歌の世界	(2)	日本語教育の教材分析 B	(2)
同時代文学の世界	(2)	日本語学習のコースデザイン	(2)
能・狂言の世界	(2)	日本語教育評価法	(2)
歌舞伎の世界	(2)	第二言語習得論	(2)
浄瑠璃の世界	(2)	日本語教育のための異文化理解	(2)
近現代演劇の世界	(2)	日本語教授法 A	(2)
漢字の世界 1	(2)	日本語教授法 B	(2)
漢字の世界 2	(2)	日本語教育実習 1	(1)
漢詩漢文の世界 1	(2)	日本語教育実習 2	(2)
漢詩漢文の世界 2	(2)	日本言語文化専門ゼミ A	(1)
日中比較言語・文学の世界	(2)	日本言語文化専門ゼミ B	(1)
書道芸術の世界	(2)	日本言語文化卒論ゼミ A	(1)
言語と文化	(2)	日本言語文化卒論ゼミ B	(1)
方言と社会言語学	(2)	卒業論文	(6)
コンピュータと言語学	(2)	書道 A	(1)
文学と子ども	(2)	書道 B	(1)

C 文学部コミュニケーション学科

R & R(入門ゼミ)	(1)	健康・医療におけるコミュニケーションの問題	(2)
コミュニケーション基礎ゼミ	(1)	H I V・難病問題と向き合う	(2)
言語コミュニケーション概論	(2)	P T S Dと被害者のグリーフワーク	(2)
社会コミュニケーション概論	(2)	ジェンダー問題と男女共同参画社会	(2)
文化コミュニケーション概論	(2)	障害者の心理学と共生社会	(2)
心理コミュニケーション概論	(2)	エイジングの心理学と高齢社会	(2)
コミュニケーション概論A	(2)	アジアとのネットワーキング	(2)
コミュニケーション概論B	(2)	ファシリテーターの理論と実践	(2)
コミュニケーション研究方法の全体像	(2)	視覚障害の理解と点字の技法A	(2)
実験の研究計画をたてる	(2)	視覚障害の理解と点字の技法B	(2)
アンケート・社会調査の方法	(2)	聴覚障害の理解と手話の技法	(2)
インタビュー・面接のスキル	(2)	共生のフィールドワーク	(4)
話しことばを分析する	(2)	メディアリテラシーを身につける	(2)
文献・情報の集め方	(2)	放送文化と制度を考える	(2)
データを数量から読み解く	(2)	新聞・出版ワークショップ	(2)
フィールドワークとエスノグラフィー	(2)	マルチメディアの現在と未来	(2)
コミュニケーション学探求1	(2)	テキスト分析と物語構造分析を学ぶ	(2)
コミュニケーション学探求2	(2)	ネットワークによるコミュニケーションの構築	(2)
コミュニケーション学探求3	(2)	コンピュータによる調査データの解析A	(2)
コミュニケーション学探求4	(2)	コンピュータによる調査データの解析B	(2)
コミュニケーション学探求5	(2)	文献・情報にアクセスする	(2)
コミュニケーション学探求6	(2)	映像取材A	(2)
コミュニケーション学探求7	(2)	映像取材B	(2)
コミュニケーション学探求8	(2)	マルチメディア制作 (CG・DTP編集) A	(2)
コミュニケーション学探求9	(4)	マルチメディア制作 (CG・DTP編集) B	(2)
コミュニケーション学探求10	(2)	マルチメディア制作 (情報デザイン) A	(2)
対人コミュニケーションの心理学	(2)	マルチメディア制作 (情報デザイン) B	(2)
ことばと記号のコミュニケーション	(2)	プレゼンテーションの方法A	(2)
日本語文法論とコミュニケーション	(2)	プレゼンテーションの方法B	(2)
社会的行為としてのコミュニケーション	(2)	取材と記事のレッスン	(2)
マスコミュニケーションと情報社会	(2)	ディベートと自己主張	(2)
組織の中の人間関係	(2)	ビジネス・コミュニケーションスキル	(2)
身体としぐさの心理学	(2)	身体表現の技法	(4)
多文化・多言語社会を考える	(2)	編集デザインスキル	(2)
クレオール文化の考え方・読み方	(2)	ファッション文化	(2)
先住民族の言語・文化と共生	(2)	スポーツ文化	(2)
ディアスポラ(離散)の思想	(2)	現代人と宗教	(2)
異文化のコミュニケーション	(2)	映画・映像文化	(2)
文化の心理学	(2)	広告とマーケティング	(2)
これからの多文化教育	(2)	カルチュラルスタディーズA	(2)
ことばと個人・社会の因果関係を探る	(2)	カルチュラルスタディーズB	(2)
歴史言語コミュニケーション概説	(2)	古典と表象文化A	(2)
アジアとの出会いと異文化体験	(2)	古典と表象文化B	(2)
多文化社会の人間学	(2)	テキスト生成と批評A	(2)
多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)	テキスト生成と批評B	(2)
異文化トレーニング	(2)	ポピュラーカルチャーA	(2)
ことばのフィールドワーク	(2)	ポピュラーカルチャーB	(2)
エスニックマイノリティーの問題を考えるA	(2)	声の文化と文字の文化A	(2)
エスニックマイノリティーの問題を考えるB	(2)	声の文化と文字の文化B	(2)
子どもの発達とこれからの教育問題	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評A	(2)
これからの家族問題A	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評B	(2)
これからの家族問題B	(2)	児童文学論A	(2)

児童文学論 B	(2)	コミュニケーション専門ゼミ A	(1)
キリスト教と文学	(2)	コミュニケーション専門ゼミ B	(1)
コミュニケーション専門ゼミ A	(1)	卒業論文・卒業制作	(6)
コミュニケーション専門ゼミ B	(1)		

D 音楽学部音楽芸術学科

2008・2009・2010年度入学者

音楽家の基礎知識	(2)	音楽社会学	(2)
音楽基礎理論	(2)	楽器法	(2)
合唱 A	(1)	諸民族の音楽 A	(2)
合唱 B	(1)	諸民族の音楽 B	(2)
基礎声楽 A	(1)	対位法の魅力	(2)
基礎声楽 B	(1)	音楽情報論	(2)
基礎ピアノ A	(1)	音楽ジャーナリズム	(2)
基礎ピアノ B	(1)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
和声 A	(2)	訳詞の世界	(2)
和声 B	(2)	作曲を楽しもう A	(2)
ソルフェージュ 1	(1)	作曲を楽しもう B	(2)
ソルフェージュ 2	(1)	ポップスを楽しもう	(2)
ソルフェージュ 3	(1)	バンドを楽しもう	(2)
ソルフェージュ 4	(1)	作・編曲法 A	(2)
賛美歌学	(2)	作・編曲法 B	(2)
キリスト教オルガン音楽概論	(2)	メディア・アート	(2)
キリスト教オルガン実技	(1)	コンピュータ音楽制作	(2)
キリスト教オルガン研究基礎	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
キリスト教オルガン研究応用	(2)	アート・マネージメント	(2)
和声 A	(2)	環境音楽デザイン	(2)
和声 B	(2)	舞台制作ワークショップ	(2)
作品分析	(2)	身体表現ワークショップ 1	(2)
ジャズ・ポップス入門	(2)	身体表現ワークショップ 2	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	映像音楽制作ワークショップ	(2)
共演芸術 A	(2)	番組制作ワークショップ	(2)
共演芸術 B	(2)	音響機器ワークショップ	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
ジャズ・ポップス実践ワークショップ	(2)	アナウンス・朗読	(2)
合奏 A	(1)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)
合奏 B	(1)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
伴奏法 A	(1)	コーラス・リーダー・ワークショップ A	(2)
伴奏法 B	(1)	コーラス・リーダー・ワークショップ B	(2)
邦楽 1	(1)	指揮法 A	(2)
邦楽 2	(1)	医療と音楽 1	(2)
合唱 A	(1)	医療と音楽 2	(2)
合唱 B	(1)	心と音楽 1	(2)
キリスト教音楽概論 1	(2)	心と音楽 2	(2)
キリスト教音楽概論 2	(2)	専門ゼミ	(1)
西洋音楽通史	(4)	専門ゼミ	(1)
日本音楽通史	(4)	専門ゼミ	(1)
西洋音楽史特殊講義 1	(2)	専門ゼミ	(1)
西洋音楽史特殊講義 2	(2)	学外公开发表	(1)
日本音楽史特殊講義	(2)	学外公开发表	(1)
ポピュラー音楽史	(2)	海外音楽研修	(2)
映画・舞台音楽論	(2)	卒業プロジェクト	(6)
現代音楽レパトリー	(2)		

2011年度以降入学者

音楽家の基礎知識	(2)	現代音楽レパートリー	(2)
音楽基礎理論	(2)	楽器法	(2)
合唱 A	(1)	音楽情報論	(2)
合唱 B	(1)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
基礎声楽A	(1)	メディア・アート	(2)
基礎声楽B	(1)	コンピュータ音楽制作 1	(2)
基礎ピアノA	(1)	コンピュータ音楽制作 2	(2)
基礎ピアノB	(1)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
和声 A	(2)	アート・マネージメント	(2)
和声 B	(2)	環境音楽デザイン	(2)
ソルフェージュ 1	(1)	舞台制作ワークショップ	(2)
ソルフェージュ 2	(1)	身体表現ワークショップ 1	(2)
ソルフェージュ 3	(1)	身体表現ワークショップ 2	(2)
ソルフェージュ 4	(1)	映像音楽制作ワークショップ	(2)
賛美歌学	(2)	番組制作ワークショップ	(2)
キリスト教音楽概論 1	(2)	音響機器ワークショップ	(2)
キリスト教音楽概論 2	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
キリスト教音楽基礎	(2)	アナウンス・朗読	(2)
キリスト教音楽実践	(2)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)
和声 A	(2)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
和声 B	(2)	作曲を楽しもうA	(2)
伴奏法A	(1)	作曲を楽しもうB	(2)
伴奏法B	(1)	ポップスを楽しもう	(2)
ジャズ・ポップス入門	(2)	バンドを楽しもう	(2)
対位法A	(2)	アンサンブルを楽しもう	(2)
対位法B	(2)	作・編曲法	(2)
共演芸術A	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップA	(2)
共演芸術B	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップB	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	合奏	(1)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	指揮法A	(2)
合唱 A	(1)	指揮法B	(2)
合唱 B	(1)	音楽ジャーナリズム	(2)
作品分析	(2)	訳詞の世界	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	医療と音楽	(2)
邦楽 1	(1)	心と音楽	(2)
邦楽 2	(1)	音楽療法 1	(2)
編曲のテクニック	(2)	音楽療法 2	(2)
西洋音楽通史	(4)	基礎演習	(1)
日本音楽通史	(4)	応用演習	(1)
音楽社会学	(2)	専門ゼミ	(1)
諸民族の音楽 A	(2)	専門ゼミ	(1)
諸民族の音楽 B	(2)	専門ゼミ	(1)
西洋音楽史特殊講義 1	(2)	専門ゼミ	(1)
西洋音楽史特殊講義 2	(2)	学外公开发表	(1)
日本音楽史特殊講義	(2)	学外公开发表	(1)
ポピュラー音楽史	(2)	海外音楽研修	(2)
映画・舞台音楽論	(2)	卒業プロジェクト	(6)

E 音楽学部演奏学科

2008・2009・2010年度入学者

音楽家の基礎知識	(2)	日本語歌唱法 A	(1)
音楽基礎理論	(2)	日本語歌唱法 B	(1)
合唱 A	(1)	室内楽 A	(1)
合唱 B	(1)	室内楽 B	(1)
和声 A	(2)	室内楽 A	(1)
和声 B	(2)	室内楽 B	(1)
ソルフェージュ 1	(1)	プラスアンサンプル A	(1)
ソルフェージュ 2	(1)	プラスアンサンプル B	(1)
ソルフェージュ 3	(1)	管弦アンサンプル A	(2)
ソルフェージュ 4	(1)	管弦アンサンプル B	(2)
ソルフェージュ A	(1)	ピアノ・デュオ A	(1)
ソルフェージュ B	(1)	ピアノ・デュオ B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	オペラ・アンサンプル A	(1)
ソルフェージュ B	(1)	オペラ・アンサンプル B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	声楽アンサンプル A	(1)
ソルフェージュ B	(1)	声楽アンサンプル B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	オラトリオ研究 A	(1)
ソルフェージュ B	(1)	オラトリオ研究 B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	通奏低音	(2)
ソルフェージュ B	(1)	キーボードハーモニー A	(2)
ソルフェージュ A	(1)	キーボードハーモニー B	(2)
ソルフェージュ B	(1)	楽曲分析 A	(2)
ソルフェージュ A	(1)	楽曲分析 B	(2)
ソルフェージュ B	(1)	共演芸術 A	(2)
ソルフェージュ A	(1)	共演芸術 B	(2)
ソルフェージュ B	(1)	合唱 A	(1)
キリスト教オルガン実践基礎	(1)	合唱 B	(1)
キリスト教オルガン実践応用	(1)	合唱 A	(1)
キリスト教オルガン研究基礎	(2)	合唱 B	(1)
キリスト教オルガン研究応用	(2)	伴奏実習	(1)
和声 A	(2)	邦楽 1	(1)
和声 B	(2)	邦楽 2	(1)
音楽様式研究	(2)	伴奏法 A	(1)
副科実技(声楽) A	(1)	伴奏法 B	(1)
副科実技(声楽) B	(1)	キリスト教音楽概論 1	(2)
副科実技(器楽) A	(1)	キリスト教音楽概論 2	(2)
副科実技(器楽) B	(1)	西洋音楽通史	(4)
第2副科実技(声楽) A	(2)	日本音楽通史	(4)
第2副科実技(声楽) B	(2)	諸民族の音楽 A	(2)
第2副科実技(器楽) A	(2)	諸民族の音楽 B	(2)
第2副科実技(器楽) B	(2)	声楽スペシャル講義	(2)
第2副科実技(作曲) A	(2)	器楽スペシャル講義	(2)
第2副科実技(作曲) B	(2)	現代音楽レパートリー	(2)
第2副科実技(バレエ) A	(1)	作・編曲法 A	(2)
第2副科実技(バレエ) B	(1)	作・編曲法 B	(2)
イタリア語歌唱法 A	(1)	声楽指導ワークショップ A	(2)
イタリア語歌唱法 B	(1)	声楽指導ワークショップ B	(2)
ドイツ語歌唱法 A	(1)	オルガン指導ワークショップ A	(2)
ドイツ語歌唱法 B	(1)	オルガン指導ワークショップ B	(2)
フランス語歌唱法	(1)	ピアノ指導ワークショップ A	(2)
英語歌唱法	(1)	ピアノ指導ワークショップ B	(2)

幼児リトミック指導ワークショップA	(2)	専攻実技(弦楽器)	(3)
幼児リトミック指導ワークショップB	(2)	専攻実技(管楽器)	(3)
チャペルクワイア指導ワークショップA	(2)	専攻実技(管楽器)	(3)
チャペルクワイア指導ワークショップB	(2)	専攻実技(管楽器)	(3)
起業家育成ワークショップA	(2)	専攻実技(管楽器)	(3)
起業家育成ワークショップB	(2)	専攻実技(管楽器)	(3)
指揮法A	(2)	専攻実技(管楽器)	(3)
指揮法B	(2)	専攻実技(管楽器)	(3)
身体表現の技法	(4)	専攻実技(管楽器)	(3)
アーティストのための身体表現A	(2)	専攻実技ソリスト育成特別レッスン	(3)
アーティストのための身体表現B	(2)	専攻実技ソリスト育成特別レッスン	(3)
専攻実技(声楽)	(3)	専攻実技特別レッスン	(3)
専攻実技(声楽)	(3)	学外公開演奏	(1)
専攻実技(声楽)	(3)	学内演奏	(4)
専攻実技(声楽)	(3)	学内ソロ・コンサート	(4)
専攻実技(声楽)	(3)	国内音楽研修	(1)
専攻実技(声楽)	(3)	海外音楽研修	(2)
専攻実技(声楽)	(3)	第2専攻実技(声楽)	(3)
専攻実技(声楽)	(3)	第2専攻実技(声楽)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(声楽)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(鍵盤楽器)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(鍵盤楽器)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(鍵盤楽器)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(鍵盤楽器)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(鍵盤楽器)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(弦楽器)	(3)
専攻実技(鍵盤楽器)	(3)	第2専攻実技(弦楽器)	(3)
専攻実技(弦楽器)	(3)	第2専攻実技(弦楽器)	(3)
専攻実技(弦楽器)	(3)	第2専攻実技(弦楽器)	(3)
専攻実技(弦楽器)	(3)	第2専攻実技(管楽器)	(3)
専攻実技(弦楽器)	(3)	第2専攻実技(管楽器)	(3)
専攻実技(弦楽器)	(3)	第2専攻実技(管楽器)	(3)
専攻実技(弦楽器)	(3)	第2専攻実技(管楽器)	(3)
専攻実技(弦楽器)	(3)	卒業演奏	(6)

2011年度以降入学者

専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(弦楽器) B	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(弦楽器) A	(3)
専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(弦楽器) B	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(弦楽器) A	(3)
専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(弦楽器) B	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(弦楽器) A	(3)
専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(管楽器) A	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(管楽器) B	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	専攻実技(管楽器) A	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	専攻実技(管楽器) B	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	専攻実技(管楽器) A	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	専攻実技(管楽器) B	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	専攻実技(管楽器) A	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	専攻実技(管楽器) B	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	2年次修了公開演奏	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	フェリスプレーヤーズ・オン・ステージ	(3)
専攻実技(弦楽器) A	(3)		

国内音楽研修	(1)	副科ピアノクラスB	(1)
海外音楽研修	(2)	副科声乐クラスA	(1)
卒業公開演奏	(6)	副科声乐クラスB	(1)
ソルフェージュ A	(1)	西洋音楽通史	(4)
ソルフェージュ B	(1)	日本音楽通史	(4)
ソルフェージュ A	(1)	対位法A	(2)
ソルフェージュ B	(1)	対位法B	(2)
ソルフェージュ A	(1)	音楽様式研究	(2)
ソルフェージュ B	(1)	通奏低音	(2)
ソルフェージュ A	(1)	キーボードハーモニーA	(2)
ソルフェージュ B	(1)	キーボードハーモニーB	(2)
ソルフェージュ A	(1)	楽曲分析A	(2)
ソルフェージュ B	(1)	楽曲分析B	(2)
ソルフェージュ A	(1)	共演芸術A	(2)
ソルフェージュ B	(1)	共演芸術B	(2)
ソルフェージュ A	(1)	現代音楽レパートリー	(2)
ソルフェージュ B	(1)	諸民族の音楽A	(2)
ソルフェージュ A	(1)	諸民族の音楽B	(2)
ソルフェージュ B	(1)	声楽歌唱法	(1)
管弦アンサンブルA	(2)	演奏スペシャル講義A	(2)
管弦アンサンブルB	(2)	演奏スペシャル講義B	(2)
プラスアンサンブルA	(1)	キリスト教オルガン音楽実践A	(1)
プラスアンサンブルB	(1)	キリスト教オルガン音楽実践B	(1)
合唱 A	(1)	キリスト教オルガン音楽研究A	(2)
合唱 B	(1)	キリスト教オルガン音楽研究B	(2)
合唱 A	(1)	キリスト教音楽概論1	(2)
合唱 B	(1)	キリスト教音楽概論2	(2)
合唱 A	(1)	オラトリオ研究A	(1)
合唱 B	(1)	オラトリオ研究B	(1)
ピアノ・デュオA	(1)	演奏のためのからだづくりA	(1)
ピアノ・デュオB	(1)	演奏のためのからだづくりB	(1)
伴奏法A	(1)	アーティストのための身体表現A	(2)
伴奏法B	(1)	アーティストのための身体表現B	(2)
声乐アンサンブルA	(1)	身体表現の技法	(4)
声乐アンサンブルB	(1)	演奏プロフェッショナル スタディA	(1)
オペラ・アンサンブルA	(1)	演奏プロフェッショナル スタディB	(1)
オペラ・アンサンブルB	(1)	学外公開演奏	(1)
室内楽1A	(1)	専攻実技特別レッスン	(3)
室内楽1B	(1)	ピアノ指導ワークショップA	(2)
室内楽2A	(1)	ピアノ指導ワークショップB	(2)
室内楽2B	(1)	幼児リトミック指導ワークショップA	(2)
室内楽3A	(1)	幼児リトミック指導ワークショップB	(2)
室内楽3B	(1)	チャベルクワイア指導ワークショップA	(2)
室内楽4A	(1)	チャベルクワイア指導ワークショップB	(2)
室内楽4B	(1)	作・編曲法	(2)
伴奏実習	(1)	編曲のテクニク	(2)
邦楽1	(1)	指揮法A	(2)
邦楽2	(1)	指揮法B	(2)
和声 A	(2)	起業家育成ワークショップA	(2)
和声 B	(2)	起業家育成ワークショップB	(2)
和声 A	(2)	PA 初習副科個人実技A	(1)
和声 B	(2)	PA 初習副科個人実技B	(1)
副科ピアノクラスA	(1)	PA 副科個人実技A	(2)

P A 副科個人実技 B	(2)	P A 第 2 専攻個人実技 A	(3)
P A 副科グループ実技 A	(1)	P A 第 2 専攻個人実技 B	(3)
P A 副科グループ実技 B	(1)		

F 国際交流学部国際交流学科

導入演習	(1)	日本史概説 B	(2)
研究入門	(2)	日本政治外交史	(4)
基礎演習	(1)	日本文化論	(4)
人文地理学	(2)	日本の文化交流	(2)
地誌	(2)	日本の行政・地方自治法 A	(2)
地球環境	(2)	日本の行政・地方自治法 B	(2)
環境保全行動論	(2)	日本経済論	(2)
環境と社会	(2)	横浜学	(4)
環境と社会運動	(2)	アジア近・現代史	(4)
南北問題	(2)	アジア近・現代史 A	(2)
自然地理学	(2)	アジア近・現代史 B	(2)
人口問題	(2)	アジアと日本(日朝・日中)	(4)
家族計画・保健	(2)	アジアの政治と社会 1(中国研究)	(4)
家族・福祉	(2)	アジアの政治と社会 2(朝鮮研究)	(4)
格差社会とアイデンティティー	(2)	アジアの政治と社会 3(東南アジア研究 1)	(4)
若者の労働環境	(2)	アジアの政治と社会 4(東南アジア研究 2) A	(2)
グリーン経済への転換 A	(2)	アジアの政治と社会 4(東南アジア研究 2) B	(2)
グリーン経済への転換 B	(2)	アジアの政治と社会 5(南アジア研究 1)	(4)
地域と食文化	(2)	アジアの思想・宗教 1(仏教) A	(2)
身近な環境を知る	(2)	アジアの思想・宗教 1(仏教) B	(2)
海外環境フィールド実習	(2)	アジアの思想・宗教 2(儒教)	(4)
国際移民・労働移動	(2)	アジアの思想・宗教 3(イスラム)	(2)
在日外国人	(2)	アジアの文化 1(文学)	(2)
文化交流論 A	(2)	アジアの文化 2(芸術) A	(2)
文化交流論 B	(2)	アジアの文化 2(芸術) B	(2)
余暇と旅行	(2)	資源問題	(2)
観光文化論	(2)	ヨーロッパ世界の近・現代史	(4)
外国人関係諸法 A	(2)	ヨーロッパ統合	(4)
外国人関係諸法 B	(2)	ヨーロッパ女性論	(2)
スポーツと国際社会	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会 1(西欧研究)	(4)
比較スポーツ論	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会 2(南欧研究)	(4)
地球社会現地実習	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会 3(ロシア・東欧研究) A	(2)
民族問題	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会 3(ロシア・東欧研究) B	(2)
文化摩擦	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会 4(北欧研究) A	(2)
平和思想と運動	(2)	ヨーロッパ世界の政治と社会 4(北欧研究) B	(2)
軍縮問題	(2)	ヨーロッパ世界の思想・宗教 1(キリスト教)	(2)
紛争と平和構築	(4)	ヨーロッパ世界の思想・宗教 2(近・現代思潮)	(2)
地域社会研究 A	(2)	ヨーロッパ世界の文化 1(文学)	(4)
地域社会研究 B	(2)	ヨーロッパ世界の文化 2(芸術) A	(2)
英語文献講読(地域社会)	(4)	ヨーロッパ世界の文化 2(芸術) B	(2)
世界史概説 A	(2)	ヨーロッパ世界の文化 3(文学と言語) A	(2)
世界史概説 B	(2)	ヨーロッパ世界の文化 3(文学と言語) B	(2)
現代文化論 A	(2)	ヨーロッパ現地実習	(2)
現代文化論 B	(2)	イギリス史 A	(2)
現代社会論 A	(2)	イギリス史 B	(2)
現代社会論 B	(2)	イギリスの政治と社会 A	(2)
世界宗教論	(2)	イギリスの政治と社会 B	(2)
日本史概説 A	(2)	イギリスの思想・宗教 A	(2)

イギリスの思想・宗教 B	(2)	統治機構・人権論 B	(2)
イギリス文化論総説 A	(2)	国際関係史 A	(2)
イギリス文化論総説 B	(2)	国際関係史 B	(2)
アメリカ史	(4)	日米外交史	(2)
アメリカの政治と社会 A	(2)	政治思想史 A	(2)
アメリカの政治と社会 B	(2)	政治思想史 B	(2)
アメリカの思想・宗教 A	(2)	日本社会思想史	(4)
アメリカの思想・宗教 B	(2)	国際環境政治論	(2)
現代アメリカ論	(4)	国際政治経済学 A	(2)
カナダの政治と社会	(4)	国際政治経済学 B	(2)
ラテンアメリカ地域文化研究	(4)	国際経済論	(4)
オーストラリア地域文化研究 A	(2)	国際経済史	(4)
オーストラリア地域文化研究 B	(2)	政治学概論	(2)
オーストラリア現地実習	(2)	国際ビジネス論 A	(2)
アフリカの政治と社会	(2)	国際ビジネス論 B	(2)
中東の政治と社会	(2)	企業と社会	(2)
国際社会研究 A	(2)	社会学概論 A	(2)
国際社会研究 B	(2)	社会学概論 B	(2)
Globalization Studies	(2)	国際社会学 A	(2)
英語文献講読 (国際社会)	(2)	国際社会学 B	(2)
国際関係論	(2)	国際開発論	(4)
国際法 A	(2)	国際協力論	(2)
国際法 B	(2)	地域の国際交流・協力	(2)
比較法	(4)	国際交通論	(2)
比較憲法	(4)	社会統計学 A	(2)
国際人権法	(2)	社会統計学 B	(2)
アジア現地実習	(2)	国際 N G O 論	(4)
国際政治学	(4)	余暇社会学	(2)
国際政治学 A	(2)	社会経済思想史	(4)
国際政治学 B	(2)	グローバル社会経済論	(2)
国際機構論	(4)	情報処理論	(2)
国際統合論	(2)	情報処理演習	(1)
国際平和論	(4)	国際情報流通論	(2)
現代外交論	(2)	国際情報処理演習	(1)
統治機構・人権論	(4)	専門演習	(1)
統治機構・人権論 A	(2)	卒業論文	(6)

別表第3 教職に関する科目(第3条関係)

()内は単位数

2000・2001・2002・2003・2004年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法	(2)	総合演習	(2)
国語科教育法	(2)	教育実習1	(1)
音楽科教育法	(4)	教育実習2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習3	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2005・2006・2007・2008・2009年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法	(2)	総合演習	(2)
国語科教育法	(2)	教育実習1	(1)
音楽科教育法	(4)	教育実習2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習3	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2010年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法	(2)	教育実習1	(1)
国語科教育法	(2)	教育実習2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習3	(2)
音楽科教育法	(4)	教職実践演習(中・高)	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2011年度以降入学者

教職入門	(2)	社会・地理歴史科教育法	(2)
教育原理	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育思想	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道徳教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(4)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(4)	教育相談	(2)
国語科教育法	(4)	教育実習 1	(1)
国語科教育法	(4)	教育実習 2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習 3	(2)
音楽科教育法	(4)	教職実践演習(中・高)	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

別表第4 日本語科目及び日本事情に関する科目（第3条の2関係）（ ）内は単位数
 （外国人留学生対象）
 2005年度以降入学者

留学生日本語	(1)	日本事情A	(2)
留学生日本語	(1)	日本事情B	(2)

別表第5 卒業に必要な単位（第18条関係）

A 文学部

2004～2013年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英文学科	日本文学科	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、 基礎教養科目・総合課題科目 から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業 要件として32単位まで認め る。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業 制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門 科目及び教職 に関する科目 を通じて自由 に選択して取 得した単位数 の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所 属学科及び他学部他学科の専 門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2014年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、 基礎教養科目・総合課題科目 から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業 要件として32単位まで認め る。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	

専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業 制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門科 目及び教職に 関する科目を 通じて自由に 選択して取得 した単位数の 合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所 属学科及び他学部他学科の専 門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

B 音楽学部

2008・2009・2010年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎 教養科目・総合課題科目から各2単 位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェ クト又は卒業 演奏	6	6	
	選択必修科目	34	42	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門科 目及び教職に 関する科目を 通じて自由に 選択して取得 した単位数の 合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目 のうち、専門科目は、所属学部及 び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2011年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	6	
	2年次修了公開演奏		3	
	選択必修科目	34	46	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

C 国際交流学部

2006・2007・2008年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	基礎教養科目		2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目		2	
	語 学 科 目		10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文		6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目		8	
	選択必修科目		20	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計		124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2009年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	基礎教養科目		2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目		2	
	語 学 科 目		10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文		6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目		8	
	選択必修科目		32	

合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。
----	-----------------------------------------------------------	-----	---------------------------------------------

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

別表第6 入学検定料（第35条関係）

文 学 部 国際交流学部	35,000円
音 楽 学 部 音楽芸術学科 演奏学科	35,000円 45,000円
大学入試センター 試験利用入学試験 （全学部）	15,000円

備考 入学試験を一次選考と二次選考に分けて実施する場合の入学検定料は、次のとおりとする。

一次選考料 10,000円

二次選考料 表中の入学検定料と一次選考料の差額

別表第7 入学金、授業料等学納金（第36条及び第36条の2関係）

A 文学部、国際交流学部 2006年度以前入学者

		前期	後期	備考	
入 学 金		380,000円	———	入学時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入	
	施 設 設 備 費	入学年度	300,000円	———	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
		入学翌年度以降	200,000円	———	
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		1,042,500円			
入学年度納入金総額		1,405,000円			
入学翌年度以降納入金総額		925,000円			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする
- 2 2005年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技（声楽・器楽）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 2005年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技（バレエ）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に30,000円を加えた額とする。

B 文学部、国際交流学部 2007年度入学者

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	———	入学時のみ納入
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	122,500円	122,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		785,000円		
入学年度納入金総額		1,270,000円		
入学翌年度以降納入金総額		970,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 音楽学部開講科目「第2副科実技（声楽・器楽）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 音楽学部開講科目「第2副科実技（バレエ）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に30,000円を加えた額とする。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

C 文学部、国際交流学部 2008・2009・2010年度入学者

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	———	入学時のみ納入
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	142,500円	142,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		805,000円		
入学年度納入金総額		1,310,000円		
入学翌年度以降納入金総額		1,010,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 2008年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技(声楽・器楽)A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 音楽学部開講科目「第2副科実技(バレエ)A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に30,000円を加えた額とする。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

D 文学部、国際交流学部 2011年度以降入学者

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	———	入学時のみ納入
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	142,500円	142,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。2年次編入学者は3年間納入。
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		805,000円		
入学年度納入金総額		1,310,000円		
入学翌年度以降納入金総額		1,010,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 音楽学部開講の実技科目(PA科目)を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料にPA科目実技料を加えた額とする。なおPA科目実技料は、音楽学部授業料等学納金に定める。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

E 音楽学部 2008・2009・2010年度入学者

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時納金のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	355,000円	355,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技(声楽・ 器楽・作曲)A・B」を 履修する当該学期のみ納 入
		C：第2副科 実技料 (履修者のみ)	30,000円	30,000円	「第2副科実技(バレエ) A・B」を履修する当該 学期のみ納入
	施 設 設 備 費 (年額)	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年 次編入学者は2年間納入。	
	実 習 費 (年額)	27,500円	27,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		903,300円			
入学年度納入金総額		1,506,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,206,500円(基本額) + 授業料B + 授業料C			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき382,500円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A(基本)に授業料B及びCを合わせた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

2 演奏学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時納金のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	590,000円	590,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 100,000円	1 楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技(声楽・ 器楽・作曲)A・B」を 履修する当該学期のみ納 入
		C：第2副科 実技料 (履修者のみ)	30,000円	30,000円	「第2副科実技(バレエ) A・B」を履修する当該 学期のみ納入
		D：第2専攻 実技料 (履修者のみ)	1 楽器等 につき 150,000円	1 楽器等 につき 150,000円	「第2専攻実技 ~」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年 次編入学者は2年間納入。	
実 習 費 (年額)	55,000円	55,000円	在学中納入		
入学時納入金総額		1,165,800円			
入学年度納入金総額		2,031,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,731,500円(基本額) + 授業料B + 授業料C + 授業料D			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A(基本)に授業料B、C及びDを合わせた額とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技 ~」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

F 音楽学部 2011年度以降入学者

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	———	入学時のみ納入
授業料等学納金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。
	実 習 費	27,500円	27,500円	在学中納入
入学時納入金総額		903,300円(基本額) + P A科目実技料		
入学年度納入金総額		1,506,500円(基本額) + P A科目実技料		
入学翌年度以降納入金総額		1,206,500円(基本額) + P A科目実技料		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	———	入学時のみ納入
授業料等学納金	授 業 料	590,000円	590,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。
	実 習 費	55,000円	55,000円	在学中納入
入学時納入金総額		1,165,800円(基本額) + P A科目実技料		
入学年度納入金総額		2,031,500円(基本額) + P A科目実技料		
入学翌年度以降納入金総額		1,731,500円(基本額) + P A科目実技料		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期間につき音楽芸術学科382,500円、演奏学科645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、納入すべき授業料(基本額)に次のP A科目実技料を加えた額とする。

P A科目実技料 (1単位につき)

個人実技 [1 楽器等あたり]	50,000円
グループ実技	30,000円

- 3 演奏学科授業科目「専攻実技 A・B ~ A・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

別表第 8 科目等履修生受講料等（第43条関係）

選考料 （ただし、本学卒業者は無料とする。）	5,000円
登録料・施設設備利用料	5,000円
受講料（1単位につき）	
講義科目	5,000円
実習又は演習科目	10,000円
音楽学部実技科目	30,000円
単位認定料（1単位につき）	
講義科目	7,500円
実習又は演習科目	15,000円
音楽学部実技科目	20,000円